

「東海地域デジタル化推進セミナー」を開催

＜デジタル社会に向けた国・自治体の動向/DX推進のためのICTの利活用＞



東海総合通信局
北林局長

東海総合通信局(局長 北林 大昌)は、東海地域デジタル化推進フォーラム及び東海情報通信懇談会と共催で、7月15日、「東海地域デジタル化推進セミナー」を開催し、国や地方公共団体、一般企業など170名が参加しました。

冒頭、北林局長から、「デジタル田園都市国家構想を推進するため、東海地域通信インフラ整備推進協議会を設置した。本セミナーを通じて、東海地域のデジタル化の一層の推進を目指して参りたい」と挨拶しました。

その後、①名古屋国際工科専門職大学情報工学科教授の山本修一郎氏から「日本のDXを進めるために」、②兵庫県情報戦略監の赤澤茂氏から「スマート兵庫の実現に向けた取り組み」、③株式会社NTTドコモ東海支社長の田畑智也氏から「5G時代の新たな価値創造」と題した3本の講演を行いました。

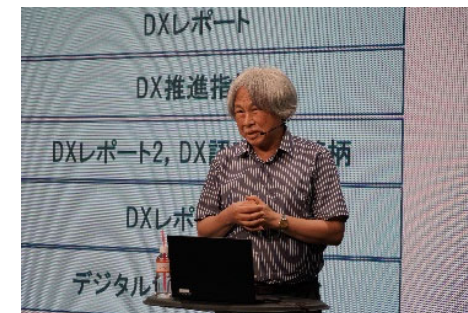
はじめに、山本教授から、日本のDXのこれまでの取組として、DXレポート、DX推進指標、デジタルガバナンス・コードなどのご説明、また、企業のDXを進めるためには、デジタルリーダーの育成や、経営、事業などにおける課題を明確化し、デジタル変革を行うことが必要であるなどご説明いただきました。

続いて、赤澤氏から、全ての県民がデジタル化の恩恵を享受できる「スマート兵庫」を目指し、デジタル化に向けて取り組んでいる兵庫県の活動や、現状の地域課題、今後の方向性についてご紹介いただきました。

最後に、田畑氏から、ドコモが展開する5Gについて、東海地域における5Gの利用例をご紹介いただきました。また、DXやサイバーフィジカルが加速する中で、ドコモがめざす、5Gのその先にある描く姿(6G)をご紹介いただきました。

視聴者からは、「非常に有意義なセミナーであり、今後も定期的実施願いたい」、「DXの導入状況や、自治体の取り組みについて理解でき、大変参考になった」などの意見が寄せられました。

コロナ禍のため、視聴者はオンラインによる参加となりましたが、参加者の皆様から大変好評をいただきました。今後も皆様にICTの最新動向をお届けするよう工夫して参ります。



名古屋国際工科専門職大学
山本教授



兵庫県
赤澤情報戦略監



NTTドコモ東海支社
田畑支社長



会場の様子
(聴衆は関係者)

用語解説

- 「DX」
デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル変革を意味します。
- 「DXレポート」
DXを推進することを目的に経済産業省が発表したレポートのこと。
- 「デジタルガバナンス・コード」
デジタル技術による社会変革を踏まえたビジョンの策定・公表といった経営者に求められる対応をとりまとめたもの。
- 「サイバーフィジカル」
実世界とコンピューターをIT技術によって結びつけること。

お問合せ先: 情報通信振興課 052-971-9109